

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ジャッカル・ライジング	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：JACKAL RISING

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

番

MB

4in 1/2

研磨剤

比較対照ボール：JACKAL GHOST

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

番

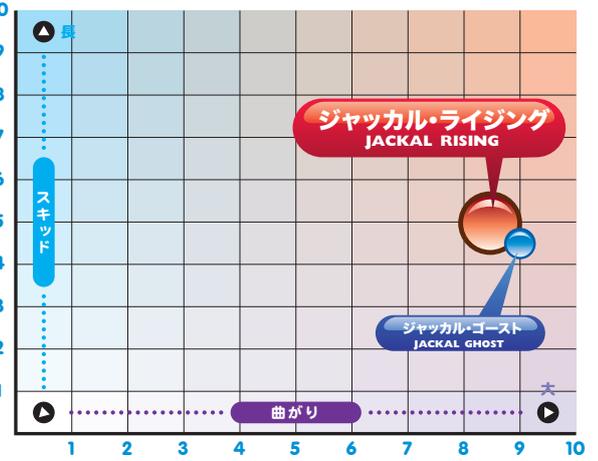
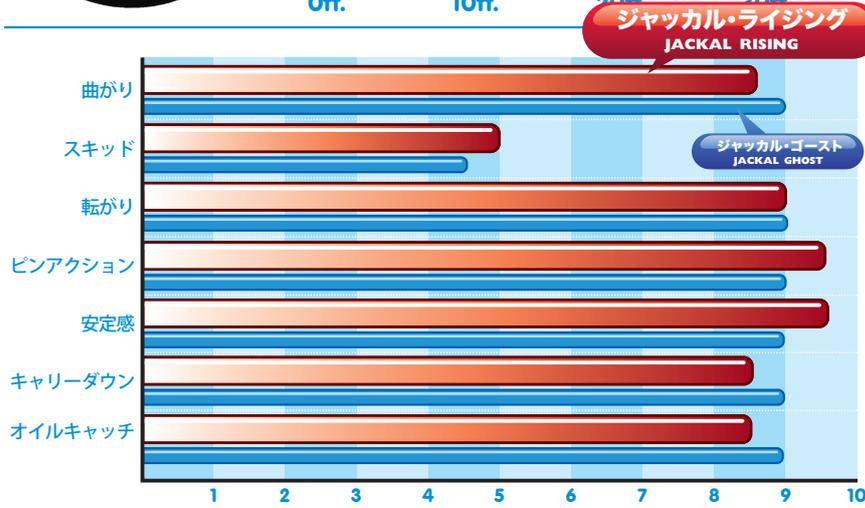
MB

4in 1/2

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ボウラーのあいだでHeavyOil用として不動の位置に君臨しているJACKALシリーズ。昨年1月に発売したJACKAL GHOSTは、発売されてからすぐに多くのユーザーはオイリー系の領域をGHOSTに委ね、キャッチしてよし、先でしっかりと動いてきてよしの、まさしく”JACKAL”と言わんばかりの性能でした。

今回発売するJACKAL RISINGはRISING用にModifyされた最新のPredator V3 Coreと新配合Coercion HV2 Solid (High Volume 2nd Edition)との組み合わせは摩擦が高く、またRISING用にMOTIV初の2000Grit LSSで仕上げることで最大限のフックポテンシャルを実現。オイルの中のトラクションだけでなく、ピンヒット時の素晴らしパワーが特徴です。

私がJACKAL RISINGを投球した第一印象は「凄く運動性のある滑らかな動き」でした。

滑らかな動きというメリハリ感がないように感じますが、JACKAL RISINGはアクティブにボール自体が動いているのを感じます。しかし動きそのものは急激にキレルということもなく、曲がり始めたらその軌道を保ちながら加速感が見られるので、扱いやすさの中にも攻撃的かつパワーに転換されピンキャリアにつながっていると実感することができます。

投球してみるとこのJACKAL RISINGはもの凄く計算されて作られているのがわかるほど、Coercion HV2 Solidと2000Grit LSSの組み合わせは絶品としか言いようがありません。

歴代JACKALシリーズも各々性能もリアクションも異なりましたが、JACKAL RISINGを投げるとまたまたMOTIV社の技術には驚かされます。曲がるイメージが持てて、コントロールが効いてピンキャリアが優れているとなれば、このボールを選択しない理由など見当たりません。2018年初めでいきなりエース級のボールの発売です。まずはJACKALを押さえ、そこから2018年のレポートリーを組んでください。

特記事項

今年一年の幕開けはMOTIV社JACKAL RISINGから始まります。RISING用にセッティングされたPredator V3 CoreとCoercion HV2 Solidと初の2000Grit LSSは圧倒的なPerformanceとパワーが特徴です。